

函館記念 過去10年傾向まとめ

過去10回のラップパターンは

持続戦:5回

消耗戦:4回

瞬発戦:1回

これはコースレイアウトによるところが大きいと考えられます。

函館2000mは、スタートが4角のポケットからで、
コースの最も高い部分からの下りスタートになります。

最初のコーナーまでの直線距離は476mと長いので、
前目にポジションを取りたい馬が多ければ、先行争いが長引き
自然とハイペースが発生しやすくなります。

このレイアウトは、福島2000mとよく似ており、
福島2000mの持続戦か消耗戦で連対実績がある馬には
注意が必要になります。

過去の好走馬のほとんどが、小回りコースの
1800mから2000mでの持続戦・消耗戦で複数回連対実績がありました。

また、2200m以上の持続戦・消耗戦で連対実績があった馬で、
小回りコースの1800から2000m(瞬発戦も含みます)に連対実績が
あった馬にも注意が必要です。

血統面では、父か母父が欧州血統で、
米国型血統も併せ持つ配合を持つ馬。

2015年以降は毎年馬券に絡む「ロベルト持ち」。

ステイゴールドの血にも注目です。

前走傾向

前走で重賞に出走していた馬が
22頭馬券になっており、該当する「関西馬」は回収率が
単回率:235%／複回率:232%と非常に期待値が高くなっております。

特に前走が左回りの重賞で「2着から9着」に負けていた馬は
右回りに替わって巻き返すケースが多発します。

6・3・2・7/18

勝率:33.3%／単回率:244%

複勝率61.1%／複回率:232%

前走巴賞組の場合は、連対した馬よりも
6着以下に負けていた馬に注目です。

ちなみに、巴賞で連対していた馬は
過去10年の函館記念で14頭出走しましたが馬券絡みゼロです。
※人気になって飛ぶ馬が多いのがこのローテです。

函館記念2023「全頭診断」

・アラタ

父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

母父:ハーツクライ(Tサンデー系)

祖母父:欧ファラリス系

曾祖母父:欧ブランドフォード系

血統評価としては、米国型血統が1ライン欲しいところ。

牝系ファミリーはマイル以下の重賞で活躍する一族ですが、

本馬は2000m重賞で3着3回と、一応の実績は示しています。

持続戦・消耗戦で4勝を挙げており、
全6勝中3勝を函館で挙げるコース巧者でもあります。

ただ、良馬場なら消耗戦でも何とか馬券になりますが、
雨の消耗戦になると力を出せず、昨年も6着に負けております。

巴賞の連対馬が馬券に絡んだ事が無いと言うデータも
買いたくない大きな理由となります。

血統評価:C

ラップ評価:A

前走評価:D

良馬場:B

雨馬場:D

相対指数:A

総合評価:C

・アルナシーム

父:モーリス(欧ロベルト系)

父母父:欧サドラーズ系

母父:ディーピンパクト

祖母父:米APインディ系

曾祖母父:米ヒムヤー系

母はアルアイン・シャフリヤールの全姉。

祖母は米国のG1(ダ1400)優勝馬。

この牝系は、大型馬なら持続型に出て
小柄なら瞬発型に出る傾向があります。

本馬は、距離不安に加えて
持続ラップで好走実績がなく、
前走では楽な逃げを覚えたばかり。

軽い馬場でスローペースになればアリそうですが、
持続戦になると苦戦必至だと考えます。

血統評価:B

ラップ評価:D

前走評価:D

良馬場:B

雨馬場:D

相対指数:B

総合評価:D

・イクスプロージョン

父:オルフェーヴル(Tサンデー系)

父母父:欧トウルピヨン系

母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

祖母父:米サンデーサイレンス

曾祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

サンデーサイレンス3×3クロス

ノーザンテースト5×4クロス

この牝系の牡馬は2000m以上の重賞で活躍し、
牝馬は1800mが主戦場になる傾向があります。

前走は左回りの重賞で3着という

函館記念の黄金ローテに該当しますが

この馬はもともとサウスポーなので、

右回りに替わって巻き返し・・・微妙な感じです。

血統的に非常に魅力的で、人気もなさそうですから
手が回るようなら押さえに入れたい1頭です。

血統評価:A

ラップ評価:C

前走評価:B
相対指数:C
総合評価:押え

・キングオブドラゴン

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

父母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

母父:コロナドズクエスト(米フォーティナイナー系)

祖母父:欧フェアウェイ系

曾祖母父:欧セントサイモン系

母父コロナドズクエストは、
フォーティナイナー×ダマスカスと言う
持続力超強化配合のフォーティナイナー系種牡馬。

この血が母系に入ると、ダート戦や短距離戦の
持続力が大幅に強化されますが、芝の中長距離では
それ程でもなく、むしろ直線のトップスピード強化に変化します。

本馬の場合も、消耗戦よりも瞬発戦ラップの方が
合っている印象の戦歴であり、テーオーシリウスと
ユニコーンライオンがやり合うような前傾ラップになると
苦戦を強いられそうな印象です。

血統評価:C
ラップ評価:C
前走評価:C
相対指数:C
総合評価:D

・スカーフェイス

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

父母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

母父:クロフネ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:キングマンボ(欧ミスプロ系)

曾祖母父:欧ニジンスキー

母の半兄スズカマンボがダートサンデー(Dサンデー系)の種牡馬になったように、本質的には砂適性のパワー牝系。

本馬の従兄弟クイーンマンボもダート重賞上位常連馬です。

昨年の函館記念は重馬場の消耗戦で3着に好走。

これは牝系の適性によるところが大きかったと考えています。

今年も同じような条件になるようなら、当然警戒が必要になります。

血統評価:注

ラップ評価:B

前走評価:注

相対指数:B

総合評価:注

・テーオーシリウス

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

父母父:米ニアークティック系

母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

祖母父:ダンスインザダーク(Tサンデー系)

曾祖母父:欧ノーザンテースト

消耗戦型の逃げ馬で、小回りコースの消耗戦で逃げ切り2回。

小回りコースの持続戦を逃げて圧勝という実績を持つ馬。

牝系ファミリーは、ダートG1を9勝したヴァーミリアンを筆頭にダート重賞の上位常連馬4頭が名を連ねる「持続力ファミリー」です。

重馬場となった昨年の当レースでは、

ダート路線から芝路線に転向したハヤヤッコが

7人気ながら消耗戦を制して芝重賞初優勝を果たしたように、

馬場によっては牝系のダート適性が活きるレースでもあります。

直近の函館芝中距離のトラックバイアスは「差し有利」な傾向がみられておりますが、最終週で雨の影響を受けた馬場になると芝適性が高すぎる馬が力を出せない可能性もあり、相対的にこの馬の適性が他を凌駕する可能性は否定できません。逃げ残りに要注意の1頭でしょう。

血統評価:注

ラップ評価:B

前走評価:C

相対指数:A

総合評価:B

・ドーブネ

父:ディーピンパクト

母父:欧ストームバード系

祖母父:欧リファール系

曾祖母父:米ヘイルトゥリーズン系

母父・祖母父共に欧州の2歳マイルG1馬。
つまり、早い時期から大舞台で活躍する血統です。

本馬はプリンシパル後に骨折が判明。
半年ほどのブランクで復帰出来ましたが、
OP入り後は勝ち鞍無しの状態が続きます。

一番気になっているのは
2000mの白富士S2着後に、主戦のユタカさんが
残したこのコメントです。
「楽なペースでしたが、距離が少し(1ハロン)長いのかも知れません」

その次走となった中山記念(持続戦)3着後のコメントも
「良いペースで行けたと思います。リズム良く行きましたが、

最後は左にもたれたり、フラフラ走っていました」

つまり、1800mでも持続戦になると
最後は一杯になるという事でしょう。

今回は2000mへの距離延長で、
前走よりもペースが厳しくなる可能性も考えられます。

巴賞連対馬が苦戦するレースだけに、
なおの事買いにくい印象が強くなります。

ちなみにこの馬は「マイ注目馬(1600mで買う)」に登録中。

血統評価:C

ラップ評価:C

前走評価:D

相対指数:A

総合評価:D

・ハヤヤッコ

父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

母父:クロフネ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:米サンデーサイレンス

曾祖母父:欧ノーザンダンサー系

この牝系は、牝馬はソダシやメイケイエールと言った
芝の重賞活躍馬を出していますが、基本的にはダート牝系です。

本馬も芝向きのスピードは不足気味なので、
パワーを活かせるような馬場にならなければ
芝の重賞では厳しいのだと考えております。

雨馬場になるようなら、昨年 of 再現も考えられます。

血統評価:C

ラップ評価:B
前走評価:B
相対指数:D
総合評価:兩馬場限定

・ブローザホーン

父:エピファネイア(欧ロベルト系)
父母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)
母父:デュランダル(Pサンデー系)
祖母父:米フォーティナイナー
曾祖母父:欧ノーザンダンサー系

母父デュランダルは消耗戦の1200・1600が主戦場でした。
祖母父フォーティナイナーは持続力の強化血統で、
本馬は持続ラップや、雨で上り時計が掛かるレースに適性がありそう。

余談ですが、21年の勝ち馬トーセンスーリヤは、
父が欧州サドラーズ系で、母父がデュランダルという配合でした。

問題は、前走が3勝クラスだった事で、
能力が足りるかどうか？ですが・・・
こればかりはやってみないと分かりません。

血統評価:B
ラップ評価:B
前走評価:C
相対指数:A
総合評価:C+

・マイネルウィルトス

父:スクリーンヒーロー(欧ロベルト系)
父母父:米サンデーサイレンス
母父:ロージスインメイ(米ヘイロー系)

祖母父:マイネルラヴ(欧ミスプロ系)

曾祖母父:欧ブラッシンググループ系

昨年2着から1年の休養明けになります。

適性は既に確認出来ていますので、
あとは仕上がり具合がどうか？ですが…

ラフィアの馬が半年以上の休養明けで、
ローカルに出走した場合の複勝率は35%程度あります。

一応の押さえは入れておいた方が良いかも知れません。

総合評価:押さえは必要

・ヤマニンサルバム

父:イスラボニータ(Pサンデー系)

父母父:コジーン(欧グレイソヴリン系)

母父:ホワイトマズル(欧リファール系)

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

曾祖母父:米ダンチヒ

直線が長いコースの瞬発ラップが本領のタイプ。
中京の2000mで連勝した時がベストパフォーマンスでした。

函館記念のタイプではなさそうです。

総合評価:D

・ユニコーンライオン

父:ノーネイネヴァー(欧ストームバード系)

父母父:米ミスプロ系

母父:ハイシャパラル(欧サドラーズ系)

祖母父:欧ノーザンダンサー系

曾祖母父:米ボールドルーラー系

父は欧州と米国のG1(スプリント)活躍馬。
産駒は欧州のマイル以下G1で活躍する傾向があり、
本馬は異端児とも言える戦績の持ち主です。

母父ハイシャパラルは英・愛ダービー馬ですので
完全にサドラーズウェルズの影響下にあると思われます。

持久力に富み、非主流コースに高い適性を示しますが、
極端な消耗戦に対する適性は低く、ラップ的には
瞬発戦ラップから持続ラップが向いています。

今回はテーオーシリウスが居ますので、
ちょっと苦しいラップになるかも知れません。

函館は2勝しているのので洋芝適性は証明済み。

血統評価:C

ラップ評価:C

前走評価:C

相対指数:E

総合評価:C

・ルビーカサブランカ

父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

母父:ダンスインザダーク(Tサンデー系)

祖母父:欧エタン系(ネイティヴダンサー系)

曾祖母父:米インリアリティ系

全兄のユーキャンスマイルと同じく、
瞬発ラップでも消耗ラップでも走れるタイプで、
正直なところ、いつ走るか分かりづらいタイプです。

ただ、母のムードインディゴは持続戦、消耗戦を好む傾向がありましたので、タイトなコースやタイトな展開が予想できるレースでは買っておくべきでしょう。

参考までに、函館記念では、キンカメ産駒が走る時はロベルト持ちを連れてくる傾向が見られますので、この馬から買うのであれば、ロベルト持ちを相手に馬券を組むのもひとつの手法だと思います。

血統評価:C

ラップ評価:B

前走評価:C

相対指数:D

総合評価:B

・ローシャムパーク

父:ハービンジャー(欧ダンチヒ系)

父母父:欧ネイティヴダンサー系

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:米サンデーサイレンス

曾祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

エアグルーヴ牝系の良血馬。

この牝系ファミリーで父がハービンジャーの場合、中央開催場に良績が集中し、ローカルでは未勝利です。

飛びも大きく、超小回りの函館は、ルメール殿が乗っても苦しい競馬になると考えます。

血統評価:C

ラップ評価:D

前走評価:C

相対指数:B

総合評価:C

・ローゼライト

父:キズナ(ディープ系)

父母父:米ストームキャット

母父:アフリート(米ミスプロ系)

祖母父:欧サドラーズウェルズ

曾祖母父:欧ハビタット

血統評価:C

ラップ評価:D

前走評価:C

相対指数:C

総合評価:D

・ロングラン

父:ヴィクトワールピサ(Tサンデー系)

父母父:欧ミスプロ系

母父:ゼダーン系(欧グレイソヴリン系)

祖母父:ダラカニ(欧ネヴァーベンド系)

曾祖母父:ロミタス(独ニジンスキー系)

母は仏国G1(2000m)の勝ち馬

祖母父ダラカニは仏国G1馬(仏ダービー・凱旋門)

少し欧州色が強すぎる印象ですが、
右回りの持続戦では重賞でも僅差の競馬が出来ており、
OPクラス昇級戦でも「超内前有利馬場」を外から差して0秒2差まで
追い上げており、2走前は延長ローテ、前走は特殊馬場と
敗因は明確でしたから、何かひとつ恵まれれば
激走の可能性は否定しきれません。

前走左回りの重賞で負けており
右回りに替われば変わり身を見せる余地も。

血統評価:C

ラップ評価:注

前走評価:注

相対指数:D

総合評価:大駆け警戒